

文化財庭園保存技術者協議会 会報

2010.6 第16号

編集・発行：文化財庭園保存技術者協議会（代表：玉根徳四郎）

〒600-8361 京都市下京区大宮通花屋町上ル NPOみどりのまちづくり研究所内

TEL：075-341-2600 FAX：075-361-0961

評議会連絡所：〒606-8371 京都市左京区北白川瓜生山2-116 京都造形芸術大学 日本庭園・歴史遺産研究センター

TEL：075-791-9018 FAX：075-791-9342

東京連絡所：〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-6-3 福田ビル3F 文化財庭園保存技術研究センター

TEL：03-3202-5233 FAX：03-3202-5394

平成22年度総会・第1回研修会のご案内

平成22年度総会・第1回研修会を下記の通り開催いたします。今回の教養研修では、2名の講師をお招きし具体的な事例を交えご講演頂いた後、鹿苑寺境内にて、国指定特別史跡特別名勝の鹿苑寺庭園の見学を行います。

実技技能研修では、京都御苑内の旧九条家拾翠亭庭園にて、庭園についてのご解説を頂き、空間構成、管理方針について会員諸氏と討議しつつ、実際の庭園において技術研修会を行います。

庭園の様々な事柄について、率直な意見交換が期待できます。ふるってご参加ください。

●平成22年7月2日(金) 会場：鹿苑寺（京都市北区金閣寺町）

12：45 受付開始（鹿苑寺方丈）

13：00 総会開会

14：00 教養研修（講演会）

講演：本中 眞 氏（文化庁記念物課主任調査官）「名勝の保護」

14：40 実地技能研修（講義）

講義：中村 一 氏（京都大学名誉教授、評議会員）「鹿苑寺庭園について」

15：00 実地技能研修 鹿苑寺見学（国指定特別史跡特別名勝庭園）

現地指導：玉根徳四郎氏（平安林泉主宰、本協議会代表）

16：45 閉会

●平成22年7月3日(土) 会場：旧九条家拾翠亭庭園（京都市上京区京都御苑内）

8：30 ～ 17：00 実技技能研修

●平成22年7月4日(日) 会場：旧九条家拾翠亭庭園（京都市上京区京都御苑内）

8：30 ～ 15：00 実技技能研修

15：00 ～ 15：30 講評

15：30 閉会

☆総会会場☆

場 所 鹿苑寺方丈（右図参照）

（京都市北区金閣寺町）

交通機関 京都市バス「金閣寺道」から徒歩5分

または「金閣寺前」下車、徒歩2分

（公共交通機関を御利用ください。）

☆研修会会場☆

7月2日 教養・実地技能研修：鹿苑寺境内

7月3・4日 実地技能研修：旧九条家拾翠亭庭園



総 会 会 場

平成21年度第2回研修会開催される

平成22年1月30日(土)・31(日)、四国の香川県・徳島県を会場として、参加者44名で実地技能研修を開催しました。その概要をご報告致します。

30日(土)は、阿波国分寺(国指定名勝阿波国分寺庭園)、徳島市立徳島城博物館(国指定名勝旧徳島城表御殿庭園)にて実地技能研修が行われました。はじめに本協議会玉根徳四郎代表にご挨拶いただき、引き続いて研修を行いました。

最初の会場である阿波国分寺では、佐藤玄由住職より歓迎のご挨拶をいただき、次いで本協議会の監事でもある(株)空間文化開発機構の真鍋建男代表取締役より、阿波国分寺庭園の歴史、実施中の保存修理事業の経緯・状況についての説明を、(株)空間文化開発機構の田口真人氏より、修理事業の概要についての説明をいただきました。

続いて、実際に保存修理中の阿波国分寺庭園を見ながら、庭匠植清の徳村盛市正会員より、石組や石橋の修理など、修理事業の詳細な内容の説明をいただきながら、実地を視察しました。

この後、会場を徳島市立徳島城博物館に移し、徳島市立徳島城博物館初代館長の福原健生氏より、旧徳島城表御殿庭園の名勝指定の経緯や庭園の概要、庭園に用いられている石材などについて説明をいただきながら実地を視察しました。

翌30日(日)は、志度寺庭園と国指定名勝栗林公園にて実地技能研修が行われました。

2日目最初の会場である志度寺庭園では、もともと残っていた庭園を作庭家として名高い重森三玲氏が改修した庭園で、志度寺の十河章住職より、寺の歴史や庭園の成り立ちなどについてご説明いただきながら、実地を視察しました。

続いて、会場を栗林公園に移し、香川県栗林公園観光事務所の徳田所長の挨拶、同事務所の川田氏から、維持管理の指針の作成の経緯やその概要を、また、管理指針作成による管理内容の変化などについてご説明いただきました。



続いて、長年にわたり香川県栗林公園観光事務所に所属され、維持管理の指針の作成などにも深くかかわっておられた正会員で有限会社庭水本の水本隆信氏より、維持管理指針に基づく管理の成果や近年の状況についてのご説明を、また、尼崎博正評議員に江戸時代の栗林公園の様子についての解説をいただきながら実地を視察しました。

最後に、尼崎博正評議員から、ひとくくりに文化財庭園といっても、時代背景や経年の変化、植栽手法や管理の手法は庭園それぞれの個性があり、そうした庭園の個性を見極めた上で管理や保存修理を行わなければならないと総括いただき、2日間の日程を終了しました。

平成21年度 特別技能研修静岡・京都で開催される

特別技能研修は、後継者育成事業として研修会員を対象に評議員会監修のもと正・準会員指導で技術の向上を図る研修として毎年東日本と西日本の2会場で開催しています。今年度は静岡県の古谿荘庭園と京都府の長岡天満宮で開催しました。その概要をご報告致します。

静岡研修

静岡での研修は、平成22年2月20日(金)から22(月)までの3日間、廣瀬慶寛副代表の指導のもと、静岡県富士市の古谿荘において、参加者11名で開催しました。古谿荘では、平成19年に技能技術練磨事業と文化財庭園フォーラム見学会の会場としてお世話になっています。

古谿荘での研修に初めて参加された方もいらっしゃるため、まず建物全体を見学させていただき、その後縁側に立って、富士山の眺望がどう変化しているかを前回の研修を踏まえて確認、協議しました。その後、庭園内に出て前回研修の成果と今回の研修方針を協議し、



早速作業に入りました。建物を中心に、庭園全体の景観を考えて空間を整備していく実習が進められました。富士山へと広がる景観の迫力が引き出され、空間が蘇生されていくことが実感できる研修となりました。

京都研修

関西での研修は、平成22年2月10日(水)・11日(木・祝)、京都府長岡京市の長岡天満宮にて上原修正会員の指導のもと参加者15名で開催しました。長岡天満宮の神苑は文化財にこそ指定されていませんが、『都名所図会』に紹介されるなど、古来より風光明媚な名所として知られていた神苑です。

10日午前は長岡天満宮の中小路宮司より、神社や周辺環境の成り立ちについてお話いただき、続いて外へ出て中庭から近年整備された滝のある庭園「錦景苑」、そして八条池にかかるキリシマツツジなどについて見学、管理説明がなされました。その後班ごとに分かれて作業方針の検討が行われ、実際の作業に入りました。

中庭では主に背後樹林の景観整備、錦景苑ではモミジやマツの剪定実習が行われました。

庭園の性質に見合う姿を検討し、どの枝を抜き、どの枝を残すのか等、意見を交換しながら作業を進めました。基本を確認しながらの研修でしたが、10日・11日ともあいにく時々雨の降る天候、幸いなことに土砂降りとなる前に作業を終えることができました。



平成21年度第3回研修会開催される

平成22年3月6日(土)・7日(日)に、東京都内において参加者22名で、研修会(技能技術練磨)を開催しました。その概要をご報告致します。

6日は、はじめに本協議会廣瀬慶寛副代表に開会のご挨拶をいただいて後、研修会を行いました。

まず、東京国立博物館庭園内の九条館にて、龍居竹之介評議会員より、同博物館庭園の歴史や特徴についてご解説いただきました。同博物館の庭園は、明治になって東京都内の旧某藩邸の庭石などを利用して造られた池泉式の庭園で、明治23年(1890)に上野を会場にした第3回内国勸業博覧会で公開されています。その後、茶室や石造品が全国各地から移築されて現在に至っており、龍居評議会員いわく「江戸時代の材料で造られた江戸時代風の近代庭園」ということになるそうです。ちなみに、講義場所としてお借りした九条館は、この7月の研修会場ともなる旧九条家(拾翠亭)から東京の九条家本邸に移さ



れて後、昭和になってから同博物館に移築されたものだそうです。

龍居評議員によるご説明の後、引続き龍居評議員にご解説いただきながら、庭園を視察しました。当日はあいにくの雨模様にもかかわらず、庭園内をご案内いただいた博物館のボランティアの方のご厚意で茶室も全部開けていただき、茶室の内部などもくわしく視察することができました。

続いて、会場を博物館のある上野公園に隣接する旧岩崎邸庭園を視察しました。ここでは、文化財指定庭園保護協議会の樋渡達也会長より、旧岩崎邸の歴史や、近年の主に建築の修復の経緯などのご説明をいただきながら、建築と庭園を視察しました。

翌7日は、国の特別名勝に指定されている六義園を視察しました。まず、(財)東京都公園協会の大内弘部長と文化財指定庭園保護協議会の樋渡達也会長より改めてご挨拶をいただいて後、六義園サービスセンターの中山センター長からは、六義園



の概要とともに、六義園で表現されている和歌浦の景観との関係について、また、六義園サービスセンターの萩谷氏からは、六義園の管理の方針などについてご説明いただきました。

この後、萩谷氏から、六義園八十八景についてご説明いただくとともに、六義園サービスセンター職員で本協議会の研修会員の武田潔氏から、近年の管理の方法などについて詳しくご解説いただきながら現地を視察し、最後に廣瀬慶寛副代表より閉会のご挨拶をいただき、2日間の日程を終了しました

庭園学講座17の開催について

京都造形芸術大学主催の庭園学講座17が「近代数寄者の庭 ―植治をめぐる人々―」をテーマに8月27日(金)から29日(日)の3日間開催されます。申し込みなどについては事務局におたずね下さい。

なお、同講座の日程・内容などについての詳細は、同大学の「瓜生山エクステンションセンター」(電話：075-791-9124)へお尋ねください。

平成22年度実技技能研修及び第7回文化財庭園フォーラムのご案内

岩手県を皮切りに、昨年度は和歌山県で開催しました実技技能研修と文化財庭園フォーラムですが、今年度は10月15日(金)から17日(日)の3日間の日程で、長崎県対馬市での開催を予定しています。

15日は実技技能研修、16日は実技技能研修と技術見学会、17日はシンポジウムの予定で調整を行っています。実技技能研修は本協議会会員を対象とした研修事業ですが、技術見学会とシンポジウムは自由参加ですので、本協議会の会員各位とともに、お知り合いの方々もお誘い合せの上、ご参加くださいますようお願いいたします。

詳細については、確定次第、あらためてご案内させていただきます。

新規加入会員の紹介

平成22年6月末日で技能会員は144名、支援会員・賛助会員は18団体、2名となりました。ここに新規に入会された方をご紹介します。

会員区分	氏名	所属	会員区分	氏名	所属
準会員	小島俊男	小島庭園工務所	準会員補	滝川徹人	滝川緑化
準会員補	小島聡司	小島庭園工務所	準会員補	川窪康弘	川窪造園
準会員補	阿部泰明	古川造園	研修会員	廣瀬竜一	廣瀬造園
準会員補	池辺利起	池辺造園	研修会員	松中 徹	松中造園
準会員補	塩路和志	塩路屋造園	研修会員	森口朝行	高木造園
準会員補	佐藤 榮	手形造園土木	研修会員	大西浩充	高木造園
準会員補	田中明男	田中造園土木	賛助団体会員	十河章	志度寺
準会員補	奥川 勉	奥川造園			

(編) 4月の号外でもお知らせしましたが、本協議会の玉根徳四郎代表が、文化財庭園での管理・修理における長年の貢献が認められ、このたびの春の褒章で旭日単光章を受章されました。改めてお祝い申し上げると共に、今後ますますのご活躍を祈念させていただきます。

なお、来る7月2日(金)に本協議会評議会員の諸先生方を発起人とした祝賀会が予定されています。詳細は(株)環境事業計画研究所の吉村龍二氏(090-5090-0622)へおたずね下さい。

本年は実技技能研修・文化財庭園フォーラムの会場を長崎県対馬で予定しています。対馬には本協議会の中村評議会員の指導、真鍋監事の設計・監理になる金石城庭園などもありますので、こうした庭園の見学などもできればと考えております。交通の確保のこともありますので、早めにご案内させていただきますのでよろしくお願いいたします。